

令和4年5月17日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立筑波小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立筑波小学校	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

### (3) 自校における評価

- ・本校では、毎月第1月曜日に第1学年・第2学年の英会話学習の時間が位置づけられている。年間10時間ではあるが、入学後まもない時期からのネイティブな英語の発音に触れることで耳が育っていると感じると共に、休み時間等にEAAやALTに積極的に英語で話しかけるなどコミュニケーションの能力も育っていると思われる。
- ・第1学年からの英会話学習の実施によって英語に慣れ親しみ、第2学年で習得につながっている。また、EAAによる英語の本の読み聞かせをしていただくことで、より外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっていると感じている。

### (4) 学校関係者による評価

#### <児童>

- ・EAAやALTとの英語の活動の中で、歌やゲームを取り入れて楽しい雰囲気作りに努めることで、英会話学習に親しみ、より意欲が高まってきている。
- ・英会話活動を行うことで、英語に興味をもち、自分から進んで学習する児童が増えてきている。
- ・特別支援学級では、1対1、2対1での個別の指導をすることで、「英語は楽しい」という気持ちになり、もっとやりたいという意欲につながっている。

#### <保護者>

- ・本校は、年3回の学校公開を実施している。昨年度は、コロナウイルス感染症拡大予防のため、各学年別日の授業参観、学年部会を設定した。そのため、1回の学校公開を6日間にわたり実施し、英会話学習の時間を参観していただけるように工夫してきた。その時間に合わせて来校してくださる保護者の方々もいらっしやった。

## 4. 実施の効果及び課題

- ・1・2年生での英会話学習、3・4年生での外国語活動を経て、5・6年の外国語科へと積み重なり、英語チャレンジDAYで、今まで学んだことを生かせる場面になっている。1日かけてじっくり英語を学ぶことができ、児童にとってとても貴重な体験になっている。また、外国人の先生方が数名来校する英語チャレンジDAYの日は、1・2年生の児童にとっても休み時間や昼休みに触れ合うことの出来る貴重な体験であり、一緒に遊んでもらえる楽しい時間になっている。
- ・EAAやALTと2人体制で英会話活動を行っているが、担任だけでは指導が難しい場面、特に発音や文法など細かい指導をしていただくことで児童が知りたいことに応えることができている。一方で、担任がT1として先導できるよう今後も努力が必要であると感じている。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- ・今後も児童の意欲を高めるために教材研究をしていくと共に、EAAやALTと打合せの時間を設定し役割分担をしたり、クラスルームイングリッシュを積極的に使ったりして、担任主導で進めていけるようにしていきたい。また、現職教育の中で、学習内容を深められるようなアクティビティを学んでいく機会を作っていきたい。